

三事研広報 NO.3

発行者 河村 尚樹

編集責任者 山中 祐樹

三重県公立小中学校事務研究会 平成 21年 10月21日

ご挨拶

朝晩めっきり寒くなってきた今日この頃ですが、先日の台風以上に新型インフルエンザも相変わらず猛威を奮っており体調管理には例年以上に敏感になっている事と思います。

修学旅行や文化祭など行事が目白押しな季節ですので手洗い、うがいなどをしっかり励行し三重県の小中学校の職員、児童が元気に過ごせることを祈るばかりです。

暗い話題ばかりになってしまいましたが今はなんと言っても食欲、スポーツの秋です。皆様はどのような秋を満喫するのかを考えるのも楽しいですね。

第41回全国公立小中学校事務研究大会(福岡大会)



8月5日～7日に行われた全国事務研の福岡大会へ参加して来ました。前日までは天候不良でしたがこの3日間は快晴に恵まれました。「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」をテーマに行われた今大会。開会式から閉会式までの模様を簡単ではありますが紹介させていただきます。

1日目



福岡国際会議場で行われた全事研の今年の参加者は実行委員会の予想を大きく上回る3, 334名となり賑やかな会場に圧倒されました。開会式が始まり、文科省の行政説明が行われました。午後からの全体研究会では「学校事務のグランドデザイン」を実行する戦略として事務長制導入における職制、機能、役割について大学准教授、教育長、校長、事務長というあらゆる立場からの視点で具体的な討論が行われ、活発な議論がなされていました。

2日目



2日目は分科会が行われ、私はその中の佐賀支部「脱事務宣言」をテーマにした分科会に参加しました。午前中は佐賀支部の方が佐賀県の事務職員の意識や実態について教育長からPTA役員といった方を対象にしたアンケートを元に分析した結果を報告していました。午後からは午前の発表を参考にグループに分かれ、他県の方との交流も兼ね自分の県の共同実施の現状について討論を行いました。

3日目



いよいよ最終日を迎え、大会が盛況であったとの報告を受けると共に九州国立博物館館長 三輪嘉六氏による「博物館の軌跡—市民と共に—」の講演が行われました。

館長として博物館の設立から運営に関わる体験談を、映像を交えて語られました。行政との交渉から博物館の集客率を高める為の努力、工夫など様々な魅力ある話が飛び出し有意義な講演となりました。

全国事務研への参加を終えて・・・

初めて全国大会へ参加させていただきましたが、想像以上の参加者と大会運営の規模の大きさに感銘を受けました。

様々な講演も印象に残りましたが、一番印象的だったのが上記でも触れました佐賀分科会でのグループ討論です。

私のグループには福岡、徳島、愛知、東京の方がみえ共同実施の実状を聞いていると、東京では実施されておらず今回学びに来たという事でした。徳島でも月に1、2回程度の開催で施設設備も整っておらず、仕事も組織化されていなくて未だに困っているという話でした。福岡、愛知の方の話も聞きましたがやはり三重県の共同実施はハード、ソフト面においても一歩進んでいると再確認出来ました。日本全国の事務の方との交流という貴重な経験が出来るのも全事研の魅力だと感じました。

前泊を含めると4日間も福岡に滞在した事になり、博多の街やグルメも堪能し、しっかり夏の思い出も作る事が出来ました (^▽^)



お知らせ 1

全国事務研 理事

●総務部 理事

四日市市立三重小学校 大西 由希子さん

●調査部 理事

桑名市立陽和中学校 岡田 健さん

大西さん、岡田さんに引き続きお世話になります。

どうぞよろしく申し上げます。



お知らせ 2

第41回 東海地区公立小中学校事務研究大会 松阪大会 兼
第46回 三重県公立小中学校事務研究大会

「子どもたちの豊かな育ちを実現する学校事務」

●日時：平成22年2月5日(金)

●場所：松阪市民文化会館大ホール等

第4分科会(桑名支部)

就学援助再発見 ～子どもが安心して学べるように～

三重県からは桑名支部からの提案が行われます。

現在、松阪大会実行委員会のみなさんを中心として、大会の準備を進めていただいています。

たくさんの参加よろしくお願いします！！

支部自慢 ～熊野支部～

熊野支部は、三重県最南端に位置し、熊野市・御浜町・紀宝町の1市2町からなっています。

共同実施は熊野市3グループ、御浜町1グループ、紀宝町1グループの5グループで取り組んでいます。

昨年度は、東海大会羽島大会に『学校における危機管理』をテーマで発表させていただきました。

「震災」からと「個人情報」から、全員で研修し、危機管理の意識を高めることができました。

さて、この地域はたいへんすばらしい自然に恵まれており、「世界遺産・熊野古道」としても知られています。

伊勢自動車道のインターが「紀勢大内山」まで延びました。津市から車で3時間ほどになりました。熊野古道探索に皆様ぜひ一度お越しください。